

# キラリ

酒田市農業委員会報 No.51



「うんめえ枝豆、届けっさげの〜」(上田地区)

## 特集

酒田の酒 酒田の米 (2、3面)

農地の適切な管理を、農業委員会活動レポート (4、5面)

キラリな女性 かがやく女性農業者 (6面)

若手農業者リレーエッセー かぜ

農業一筋 短信 (7面)

進む農業の法人化 -地域での取り組み- (8面)



30年 夏季号



# 酒田の酒

# 田の米



「酒田が誇る美酒」の展示 <酒田市役所>

全国の自治体名の文字に「酒」の文字が入るのは2つだけとのこと。酒田市は、食べておいしい「米」どころ。そして、飲んでおいしい「酒」どころなのです。

## IWCってなんですか？

- 英国の出版社が主催する世界最大規模のワイン品評会です。
- 日本酒の審査は「SAKE部門」で行われ、9つのカテゴリー別に「金・銀・銅メダル」、「推奨」を決定します。
- 金メダル受賞の中から最高賞である「トロフィー」が選ばれます。
- 7月にロンドンで最終結果が発表されます。

5月に山形県内で「インターナショナル・ワイン・チャレンジ（IWC）2018」における日本酒の部門の審査会が開催されました。そして「IWC2018SAKE部門」の各カテゴリーにおいて、最高賞となる「トロフィー」を山形県内から3つの銘柄が受賞しました。そのうち①本醸造酒と②純米吟醸酒の部門においては市内の2つの銘柄が、その名誉ある賞に輝きました。

## 酒田の「日本酒」

また本醸造の部門で受賞した酒蔵は、7月にロンドンで発表された2018年の日本酒部門の最終発表においてもその実力が評価され、年間の最優秀「酒蔵」に選ばれました。

市内には7つの酒蔵があり、それぞれが技術や個性を生かし、さまざまな特徴・風味の美味しい日本酒を造っています。

その日本酒造りには欠かせない原料が、酒米（酒造好適米）です。ここ酒田でも知恵と工夫を凝らして作られている酒米のあれこれをご紹介します。



②純米吟醸酒部門



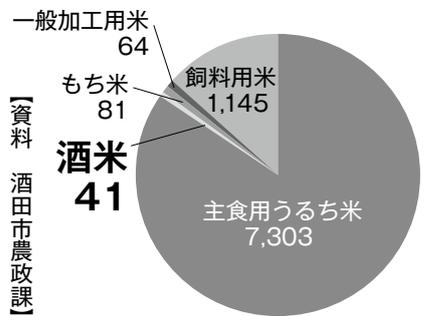
①本醸造酒部門

## 酒米の作付事情

下のグラフは酒田市全体の米作付面積を表したものです。酒米の割合が少ないことが分かります。

酒米は、気候や土壌の条件に加え、苗の間隔をあけて通気性や日当たりを良くするなど、技術を要することから、栽培が大変難しく、収量も上がらないため、主食用米に比べて作付けが少ないのが現状です。

平成29年度  
酒田市種類別 作付面積  
(単位：ヘクタール)



【資料】酒田市農政課

また下段のグラフは、酒米の作付面積を2年間で比較したものです。比較すると、全体の面積はほぼ横ばいとなっています。

## 酒米を育てる人

— 手間のかかる酒米栽培。その実状についてお伺いしました。

酒米栽培のきつかけを

教えてください



田村 久義 氏  
「東北酒米研究会」会長

平成8年に市内の酒蔵から、酒田の沢水で育った酒米を依頼され、

生石地区の大平集落8名で始めました。現在は7名で、4・6畝で収穫した「出羽燦々」全てを酒蔵へ納めています。

酒米作りの苦勞は

減農薬・減化学肥料を全員同じ基準で行い、稲の生育調査、土壌改良なども徹底しています。収量は通常より2〜3割ほど少なくなっています。そして酒造りでは米粒を削って使用するため、粒の大きさや成分含量にも気を使います。それに集落の田は、15㍎規模のうえず畦の高低差も大きいので、草刈

品種別では、「出羽燦々（でわさんさん）」の作付けが一番多くなっています。これは山形県で誕生したオリジナルの酒米です。「山形県が生んだ酒米」にふさわしいものにしようというのが、この名前の由来だそうです。

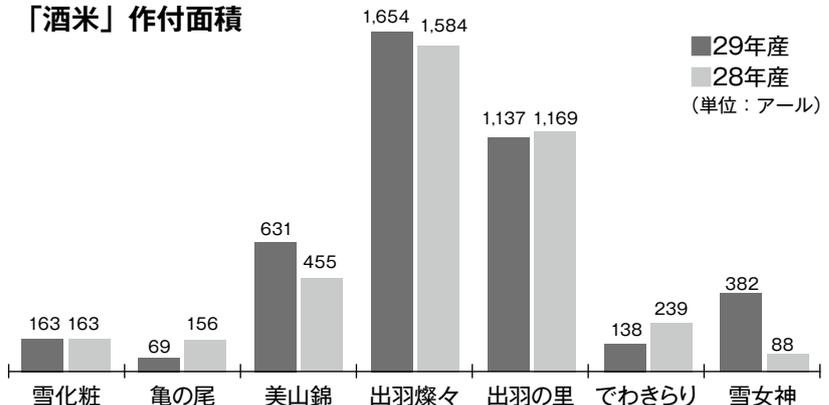
作付量が増えた「雪女神」も山形県の期待の新品種です。このように県を挙げた新品種の開発や、栽培技術の研究など、農業関係者の努力のもとに酒米は作られています。

りなどの管理が大変です。また、東平田地区のカントリーエレベーターを利用するので、他の米と別に調製をするため、地区で最初に刈り取りをしなければならぬので段取りが大変です。

今後の展望は

いずれは作付面積や品種を増やしたいと考えています。現在、専業の後継者はいませんが、次世代にこの環境を引き継いで、品質重視の良質な酒米を提供し続けていきたいと思っています。

「酒米」作付面積



【資料】酒田市農政課

農家は良質な酒米を提供し、酒蔵は良質な日本酒を造る。ここ酒田はやはり、日本酒造りに適した土地のようです。

近年、日本酒がブームになってきています。またIWC受賞による、酒田の「酒」への注目度が高まることを機に、酒田の米と酒田の酒がより一層広まることを期待します。

# 農地の適切な管理を

農業委員会では、遊休農地の発生防止と解消に向けて年間を通じて活動を行っています。

## 遊休農地とは

◆過去1年以上作物の栽培が行われていない状態で、草刈りなどの維持管理がされていない農地の維持管理がまばらに栽培されていたり、一部に偏って栽培されるなど、必要な管理が適切に行われていない低利用の農地

## 遊休農地確認までの流れ

農地パトロールで遊休農地の場所とその状況を判定



農地の所有者に、農地の利用状況についての調査（利用意向調査）を実施

遊休農地について、耕作の再開を行わない等、放置している場合は固定資産税等の課税が強化されます。また適正な農地利用に結びつく農地貸し借り契約を行う場合は、課税の軽減を受けられます。

## ◆課税の強化◆

当該農地の固定資産税及び都市計画税について、その課税額が約1・8倍になります。

なお、自分で耕作再開ができない等の場合、利用意向調査で農地中間管理機構への貸し付け希望などをした場合は課税強化の対象にはなりません。

## ◆課税の軽減◆

所有する全農地（10<sup>ア</sup>未満の自作地を除く）を新たに農地中間管理機構に貸し付けた場合、課税が軽減されます。

## 【貸付期間・軽減内容】

- ① 10年以上15年未満貸し付け  
／ 3年間2分の1に軽減
- ② 15年以上貸し付け  
／ 5年間2分の1に軽減

※詳細は、市ホームページ等もご覧ください。

## 「遊休農地」発生防止・解消活動

6月12日、農地利用状況調査員結団式を開催し、各地区で農地パトロールを行う調査員に委嘱状を交付しました。遊休農地の実態把握と発生防止・解消に向けて7、8月に重点的調査を行うにあたり、積極的な取り組みの確認をしたものです。

また同日、庄内みどり農業協同組合の伊藤昌平氏より「遊休農地の解消事例について」地域の環境を守るために」と題した講演をいただきました。

遊休農地の作付けについて、JA庄内みどりと農業委員会、地区が一体となって相談することで、農地貸し借りに結びつけた事例の紹介などがありました。

（庄司太一郎委員）



粘り強い働きかけがカギ!

## 活動レポート

### 新規就農者対策研修

7月2日、農業委員22名で大江町を視察しました。大江町は県外からの新規就農者が、県内でも多く定住している地域です。

まず新規就農者用共同作業所と同住宅を視察。その後「OSINの会」（就農研修生受入協議会）の支援概要を説明してもらいました。

会では、都内で開催の「新、農業人フェア」に年4回出展し、果樹栽培と野菜の組み合わせにより1年目から安定収入を得られるなど、農業を志す人に具体的な数字を示して、就農後も生活できることをアピールしているとのこと。

また、家族で移住を考えている人が、やる気もあり有望とのことから、町とJAが積極的に支援をして住む場所を確保しています。

（佐藤耕造委員）



共同利用の農機具

## つながる・広がる 女性の視点から！

### 山形県農業委員会 女性の会研修会

6月1日に天童市で、第10回通常総会と研修会が開催されました。

研修会では、天童市でラ・フランスや山菜を生産・販売している農家の結城こずえさんから「農村部の女性の地位向上と農業」と題した講演がありました。

結城さんは今年3月にニューヨークにある国連本部で、日本の女性農業者を代表し、女性農業者が直面している課題や模範的な取り組みについて、流暢な英語で発表した才能の持ち主。



結城こずえ講師

現在は、栽培した果樹の加工品を製造・販売する「ヤマガタグツデイズ」を経営していますが、就農前は英会話教室の講師として全国を飛び回っていました。結婚を機に実家に帰り、リンゴの花や果樹園の美しい風景を見て就農を決意し、3年目を迎えています。

その間、農林水産省が主催した「農業女子プロジェクト」での出会いと情報交換、また香港での加工品試食イベント参加が、世界へ自分の農産物をPRするきっかけにつながったとのこと。

また、地元のJAてんどう女性部に「フレッシュコミュニティ部会」を立ち上げて、食育活動を追ったドキュメンタリー映画を仲間と上映したりしています。

日常の中で、女性農業者が経営や技術を学び、新たな取り組みに挑戦する機会を設けるため、ネットワークが大切と話します。今後、山形の女性農業者のリーダーとして活躍していただきたいと思っています。

(佐藤玲子委員)



### 東北・北海道ブロック 女性農業委員研修会

7月3日猛暑の中、福島市に約170人が集まり、農業委員会の情報提供活動強化の研修と、福島県に移住し活躍中の講師2人からの講演が行われました。

講演は、76歳という年齢を感じさせない活力にあふれた(有)オールドアウルス代表取締役の呑田理美子氏から始まりました。「ペンション経営から見た農村への誘客」というテーマの中で、「自分達の中でだけで考えず、他の人の頭も使っていくといい考え方が出てくる」といった話には感心させられました。



パワフルな呑田講師

2人目の講師は、(株)陽と人(ひとびと)代表取締役の小林味愛氏で、国家公務員として国会の法案を作成する衆議院調査局勤務という経歴のある方です。「地域資源の価値化による地域活性化」という演題で、福島に移住した経緯、そこからの仕事や都心部とのつながり、持続可能な地域づくりや昨年設立した会社の話等、中身の濃い盛りだくさんの内容でした。

重要なのは、第一に販売対象層を考え、最終目的をどうするか考えて商品化すること、農家目線ではなかなかできないと思いましたが、消費者目線を取り入れていくことが、モノ作りには大切と学んだように思いました。

(伊與田明子委員)



生の現場で働く小林講師

## キラリな女性

…かがやく  
女性農業者

## 畜産ヘルパー

中野新田 恵  
佐藤

畜産農家の方々の人手不足を少しでも解消できればと、7年前に「畜産ヘルパー」が発足しました。

農家の方が子牛売買市場の開催日や行事等で家畜の面倒を見ることのできないとき、代わりに飼料を与えたりするのが主な仕事になります。種類としては、肥育牛、繁殖牛、乳牛、養豚と幅広く対応しております。

毎日、就業場所や開始時間、仕事内容が全く違うため、慣れるまでとても苦労しました。特に「牛」は朝がとて早く、早起きが苦手な私は続けられるのか!?と心配でしたが、家族の支えや畜主の方々からの感謝の言葉もあり、また何より生き物が好きなことで早起きも克服できた気がします。



キチンとした仕事ぶりが評判です

基本的に私個人で仕事を請けるので、子牛市場日の関係で依頼が重複してしまうことがあります。そんなときは、農家同士での「お互い様・譲り合い」が自然と見られることは素晴らしいと思います。また牛の方では臨時ヘルパーさんが小規模の所や私が病気のとき等は稼動してくれており、皆様のお陰で動いているのだと改めて思っています。

今後の課題は、変則勤務で体調を崩しやすいので、休日にきちんと回復するようにすること。そして農家さんからの依頼も以前より増えた気がするので、できれば養豚の臨時ヘルパーさんもいてほしいなあと心から願っております。

## わげ

～若手農業者リレーエッセー～



私は今年で就農17年目になります。このリレーエッセー執筆の依頼を受けてから就農したてのころのことを色々と思い出しました。

家が農家で幼い頃から親の手伝いをしながら苗を少しもらって自分で育てたりしていたので、農業は楽しいというイメージを持っていました。いつか自分もこのような仕事をしたいのかな等とぼんやり考えていました。

そしていざ自分が就農するとうとうときになり、はじめは慣れない仕事が多く嫌々日々の作業に取り組んでいきました。なかなか思い通りに仕事が進まず、忙しい日々が続いたり農業の大変さを思い知らされました。そんな中でも自分

## 日々勉強

黒森 佐藤 弘行

の作った物で美味しいと言ってもらえたり、品質のいい物ができたりするとやはりうれしく、幼き日に感じた、農業は楽しいという思い出がよみがえり、農業をやっているよかったです。

現在私の家では水稻、アスパラガス、花を作付けしています。農業というのは何年やっても同じようにはきた年というものはなく、作物によって全く管理が違ったりといつも新しい発見、疑問が生まれます。わからないことがあれば地域の先輩方や同じ部会の仲間、普及課やJAの職員などに教えてもらいながらさらに良い物を作るため日々勉強しています。

現状に満足せずどうすれば美味しくなるか、収量が上がるか、病害虫の被害に遭わないかなど常に考え、向上心を探究心をもって日々の作業をがんばっていききたいと思います。





# 農業委員がおじゃましてお聞きしました！

松山地区

岩崎 嘉市 さん  
明子 さん  
ご夫妻



ご自身が代表理事を務める地域の農事組合法人「大川渡里夢」で水稲約7畝とソバの作付けを行っている、嘉市さん（70歳）と明子さん（67歳）ご夫妻。  
大学卒業後すぐに就農し、「ここは強風地帯なので、風対策のため水稲、杉苗栽培のほかにメロン、シイタケ、繁殖牛飼育と、いろいろ手掛けた」との談。  
水田の基盤整備事業の間にシイタケを始め、そして牛舎に転換していったとのこと。  
水稲のほか、杉苗は明子さんが主で、牛の飼育は嘉市さんが担当。最高時には10頭程いて、草の確保が大変だったことなど

忙しかった頃を振り返ります。

杉苗は品質管理が大変でやめたとい、牛の飼育も、ケガをするとい悪いからと3年前にやめたそうです。「やめてから子牛の値段が上がった」と、ご夫婦そろって笑います。

そんなお二人の今の楽しみは、明子さんがツアー旅行と、初孫が生まれてから始めた山登り。特に富士山が最高だったとのこと。対照的に、嘉市さんはパソコンでのネットサーフィンと読書が趣味。政治・経済問題の書籍をよく読むとのことから、思慮深い人柄が垣間見え、「地域の農業を守っていかないと」と静かに話す言葉に熱い思いを感じました。これからお二人とも元気で活躍ください。

（須田正弘委員）



## 短信

全国農業担い手サミット  
in やまがた 迫る

11月8～9日に山形県内で第21回全国農業担い手サミット in やまがたが開催されます。第1回が酒田市内で開催されて、このたびは山形県内各地での開催となります。

「咲かせよう農の花！実らせよう豊かな日本！〜樹氷のように輝き、たくましい未来へ〜」を大会テーマに、全国の意欲ある農業の担い手が一堂に会する場となります。

9日は酒田市内も現地研修会会場となりますので、盛り上げていきたいものです。

## 収入保険に入りませんか？

新しく導入された収入保険は、ただ今、加入手続き受付中です。すべての作物の品目が対象になり、多様なリスクに対応します。

【問】山形県農業共済組合庄内支所（NOSAI山形庄内支所）  
☎ 0234-91-1553

## 山形県農業会議の会長に就任

一般社団法人山形県農業会議の通常総会が6月27日に天童市で開催され、当市会長の五十嵐直太郎の会長就任が再任されました。任期は2年となります。

## こんにちは！農業委員会です

農地の集積・集約化を進める際のマッチングや地区で抱えている課題を話し合うため、農地集積センター地区会議の開催時にお伺いします。

平成30年度の開催予定地区は次のとおりです。

- ◇上田地区      ◇北部地区      ◇本楯地区
- ◇北平田地区   ◇浜中地区

## 農業者年金に加入しましょう

老後の生活をしっかりサポートします。農業に従事する方なら、広く加入いただけます。

農業者年金 へは…

国民年金 第1号 被保険者 <small>国民年金保険料 納付免除者を除く。</small>	年間 60日以上 農業に従事	60歳未満
---	----------------------	-------

の方ならどなたでも加入できます。

## 農事組合法人『一心きらきらファーム』

代表理事 伊藤 正 明

### ○名前の由来

当初は、生産組織名「下村一心会」で良いと思っていたが、消費者に固いイメージを持たれることから、「きらきら」の文字を入れ、親しみのあるソフトな名前に変えた。「一心」は昭和初期に作られた生産組織の名前に由来しており、伝統を継続する意味から残した。

### ○経営内容

組合員11名 役員6名  
経営面積42畝



### ○設立のきっかけ

平成19年の新政策を契機に、集落営農組織を設立し、集落内で地域農業の将来を話し合った。集落内の中核農家には、後継者が1名しかおらず、「この先、機械の共同化だけでは集落が衰退する」という危機感を強く持った事。「今は良くても5年先10年先は不透明」という不安感から法人組織を作った。

### ○これからの抱負

事業面では、経営面積を増や



主な農産物 米、大豆、枝豆、花卉

しつつ、後継者育成につながるよう経験や勘に頼る農業からの脱却、栽培マニュアルを作り初心者でもすぐにできる農業。

### 経営面で

は、効率化を図り5～6年後を目途に従事分量の配当で賃金相当を支払う形ではなく、給料も退職金も支払う会社形式にした。



## なんの花？

### ヒント

- ◇原産地は南アフリカで高温に強い夏野菜。
- ◇実の先端部分が獅子の頭に見えるので、こう呼ばれます。
- ◇焼いて酒のつまみや、天ぷら、煮物、炒め物で食べます。



## 編集後記

ジリジリと肌に突き刺す太陽の光と熱く焼けて乾いた風の匂い、砂畑からの照り返しで体中の毛穴から汗が噴き出しています。シャワーを浴びて、冷たいそうめんをすすり茄子漬をつまむ、真夏の昼の幸せ。

今年、酒田の酒蔵が、IWC 2018でSAKEの蔵元として最優秀賞に輝きました。かつて酒蔵には、岩手県から南部杜氏さんたちが来て、地元の蔵人と寝食を共にして酒造りをしてきたそうです。多くの人々の礎があつてこそその栄光なのでしょう。

また、庄内平野の米作りが平成元年から小学5年生の社会科の教科書に掲載されています。全国に多々ある米どころの中から、酒田の米作りを日本中の小学生が勉強しています。この土地の気候風土と先人から続く米作りの研究と努力があつてこそ、とJA職員からお話を伺いました。この地で生きること誇りに思います。

(つづい)

答え・ししとう